

国際ロータリー第2580地区 (東京・沖縄)

東京武蔵村山ロータリークラブ

Tokyo-Musashimurayama Rotary Club

週報 No.1628

2005-06年度 国際ロータリーテーマ 「超我の奉仕」 RI 会長 カール・ヴィルヘルム・ステンハマー

国際ロータリー 第2580地区



東京武蔵村山ロータリークラブテーマ

2005-06年度ガバナー 古宮 誠

「協調性あるクラブ活動を」

SERVICE Above Self

第34代クラブ会長 後藤 正次

8月は会員増強及拡大月間です。

本日の例会
納涼会

第1629回
例会
2005. 8. 24

次回例会案内【8月31日(水)】
卓話 広報委員会

第1628回例会報告 (2005年8月10日)

司会 比留間 重次 SAA副委員長

点 鐘 (後藤 正次 会長)

会務報告 (後藤 正次 会長)

斉 唱
奉仕の理想 (ソングリーダー 峯岸 一郎 会員)

1. 青少年交換委員会より
第40期 派遣学生帰国報告会及び2005年来日学生
合同歓迎会の案内が届いています。
・9月11日(日) 14:30~ 登録
・国立オリンピック記念青少年総合センター
・登録料 10,000円
2. 市の生涯学習を支援する市民の会より
「生涯学習市民学園まつり」開催に伴う物品提供への礼状を
頂きました。

来客紹介 (なし)

○ゲスト
古宮 誠一 ガバナー 長田 祐之 地区副幹事
石井 作市 ガバナー補佐 秋間 武 分区幹事

○ビジター
市原 有也 様 (東大和RC)

幹事報告 (原田 友義 幹事)

出席報告 (栗原 高明 出席委員)

1. 「友」インターネット速報 No.196、197が届いています。
2. 青梅RCより事業計画書を頂きました。

会員数	出席者数	出席率	前々回出席率修正
32名	26名	83.87%	87.5%→90.63%

○事前メーキャップ 藤野 豊 会員 → 分区連絡会
○メーキャップ (第1626回)
渡辺 洋司 会員 → 分区米山奨学委員長会



◇ 創立 1972年7月8日 ◇ 承認 1972年7月20日
◇ スポンサークラブ 東京立川ロータリークラブ
◎ 会長 後藤 正次 ◎ 幹事 原田 友義
○ 副会長 小野寺 一昭 ○ 副幹事 芦川 征史
□ 会報雑誌委員長 比留間 孝司 副委員長 野島 征
委員 渡辺 洋司 宮崎 茂夫

◇ 例会場 西武信用金庫・村山支店2階
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
◇ 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
◇ クラブ事務局
〒208-0004 武蔵村山市本町2-91-1
TEL 042(520)3251 FAX 042(520)3252
Eメールアドレス t-mmrc@crest.ocn.ne.jp

卓 話 「超我の奉仕について」

古宮 誠一 ガバナー



今年度R1のテーマである「超我の奉仕」とは、ロータリーの基本の第一標語であるとされています。この点、皆さん色々なお考えがあるでしょう。私自身も文献を調べるなどして改めて考え直してみました。



右から
古宮 誠一 ガバナー
長田 祐之 地区副幹事

ロータリークラブが誕生した当初は親睦・社交の側面が強く、奉仕という概念はそれほど強くはなかったといわれています。ところが1908年にシェルトンという人がシカゴのクラブに入り、あまりに荒廃した社会状況を見兼ね、最も他人に尽くす者が最も報われるという趣旨の標語を持ち込みました。他方、ほぼ同時期にコリンズという弁護士が「Service Not Self」という自己利益否定の趣旨を唱えたりしました。しかし、あまりに自己否定が過ぎるということから最終的には「Service Above Self」、「超我の奉仕」と訳される標語に落ち着いたのです。さて米山梅吉さんが1920年日本にロータリークラブを創立した際、これは「サービス第一、自己第二」と訳されました。

「超我の奉仕」と関連して、決議 23-34 いわゆる「セントルイス宣言」というものがあります。これについてはトーマスという元R1会長の方が「ロータリーのモザイク」という著書で次のとおり述べています。つまり、各人が抱える自己利益の追及と他者への奉仕との間の自己矛盾を緩和するものこそロータリークラブなのだ。ここが先程来の「超我の奉仕」につながるのです。クラブ協議会の職業奉仕のお話にもありましたが、ロータリークラブは日常利益を求める実業界の人達の集まりですから、そうした組織基盤のうえに標語も生まれてくるのです。

先年R1会長を務められたラタクルさんは「超我の奉仕」について興味深いお話をされていますのでご紹介致します。まず、「超我」ということを各人がよく考えること。そして奉仕について自分自身に問い掛けること。具体的には、自分が他人（世界）にしてあげた事は忘れて他人（世界）が自分にしてくれた事に思いを巡らすことであり、自分の置かれた状況に愚痴を言うよりも一つでも多くの幸せの種をまく場所を探ることができるかどうか。この問い掛けにYESと答えられる人こそが「超我の奉仕」を理解し、ロータリークラブの奉仕活動を理解している人だと言うのです。

以上、今年度R1のテーマ「超我の奉仕」につき、私なりの考えをお話し致しました。ご静聴有難うございました。



左から
石井 作市 ガバナー補佐
秋間 武 分区幹事



市原 有也 様
(東大和RC)



ニコニコBOX

(田中 伸彦 親睦副委員長)

☀ 後藤正次会長⇒古宮誠一ガバナー、長田地区副幹事、石井ガバナー補佐、秋間分区幹事、本日はありがとうございます。

☀ 波多野稔会員⇒古宮誠一ガバナーには、年初早々の公式訪問、誠にありがとうございます。地区副幹事 長田様、分区ガバナー補佐 石井様、分区幹事 秋間様、ご苦労様に存じます。よろしくご指導頂きたくお願い申し上げます。

☀ 比留間市郎会員(2件)⇒今年も西東京大会で優勝しました。大会初の三連覇です。今年は昨年より強そうです。応援をよろしくお願い致します。

*64歳の誕生日を祝っていただきありがとうございます。

☀ 栗原高明会員⇒8月6日の伊奈平苑盆踊り大会には、後藤会長はじめ多数の会員にご参加頂きありがとうございます。お陰様で盛会のうちに終了することが出来ました。

◆ 今回計 35,000円 累計 280,000円